

白鳳文化

7世紀中頃から8世紀初頭（平城京遷都）までの文化を白鳳文化と呼ぶ。飛鳥文化と同様に仏教がその中軸を占め、高句麗・インドの影響も見られるが、唐文化の影響や地方豪族の仏教受容という点で異なる。また、文章・和歌での万葉仮名使用もこの文化期に成立したと考えられ、結果、記録された和歌を知ることができる。

○美術作品

●寺院の創建と移建

- (1) _____ …藤原京に造られた寺院で、
後に平城京へ移築、**大安寺**と改称
…「官立の大寺院」の意
- (2) _____ …藤原京に造られた官立の寺院で、
後に平城京へ移築

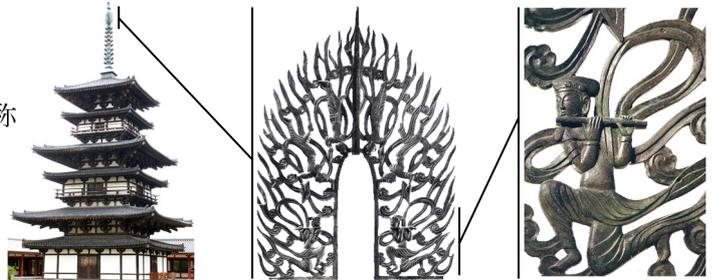


図1 「凍れる音楽」薬師寺東塔、塔上の水煙

●仏像

- 法隆寺⁽³⁾ _____
- 法隆寺⁽⁴⁾ _____
- 薬師寺金堂⁽⁵⁾ _____
- 薬師寺東院堂⁽⁶⁾ _____
- 興福寺⁽⁷⁾ _____

◇(7) …蘇我^{くらやまだいしかわまる}倉山田石川麻呂創建の山田寺の本尊の頭部で、
天武天皇が彼の冥福を祈るために造像



図2 阿弥陀三尊像



図3 夢違観音像



図4 薬師三尊像



図5 聖観音像



図6 仏頭

●絵画

- (8) _____ 寺金堂壁画
…インドの壁画に類似
…1949年の焼失を契機に、
文化財保護法を制定
- (9) _____ 古墳壁画
…高句麗の壁画に類似

技法的に類似！



図7 アジャンター石窟壁画（インド） 図8 法隆寺金堂壁画（1949年焼失）



図9 高松塚古墳壁画

○和歌と天皇

●万葉仮名

漢字が普及に伴って、日本列島独自の言葉を、漢字のもつ意味に関係なく、その音^{おん}で表記するようになった。

→表記した文字を⁽¹⁰⁾ _____ という。
⇒(10) で文章・和歌なども記録されるようになった。

- ◇万葉仮名の成立時期は不明（文章には7世紀中頃から!?)
- ◇5世紀の鉄剣（稲荷山古墳出土）に「^{いなりやま}獲加多支^{わかたける}爾^{おおきみ}大王」とあるが、この時点では人名のみで、文章での万葉仮名の使用は未成立



図10 7世紀中頃の木簡

●和歌

7世紀中頃には、万葉仮名で和歌が表記されはじめた。

◇和歌自体の起源を求めることは困難

⁽¹¹⁾

…^{にきたつ}熱田津に 船乗りせむと 月待てば
潮もかなひぬ 今は漕ぎ出でな（『万葉集』）



^{ぬかたのおおきみ}
額田王
7世紀後半の歌人で、天武天皇の後。百濟再興支援の途上、伊予国の熱田津で船出を待つ歌が有名である。出自・交友関係ともに不詳ことが多い。

●天皇の神格化

⁽¹²⁾

…^{おおきみ}大君は 神にしませば
^{あまくも}天雲の ^{いかづち}雷の上に いほらせるかも（『万葉集』）
^{おおとのみゆき}大伴御行
…^{おおきみ}大君は 神にしませば
^{あかごま}赤駒の ^{はらば}腹這ふ^{たい}田居を 都と成しつ（『万葉集』）
作者未詳
…^{おおきみ}大君は 神にしませば
水鳥の ^{みぬま}すだく水沼を 都と成しつ（『万葉集』）

↓
大君（天武天皇）は「神」と詠う

武力での即位や中央集権化の取り組みで、天武天皇の地位の絶対化や神格化が生じた。

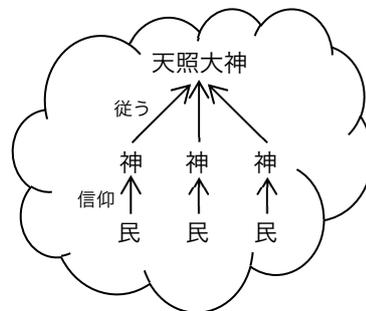
↓
一説ではあるが…

加えて、天武は皇祖神（天照大神）が神の頂点であることや、天皇との繋がりを国史で物語ろうと国史編纂事業を始めた!?

⇒奈良時代に『古事記』『日本書紀』として完成した。

◇天武が伊勢神宮での皇祖神の祭祀を開始!?

^{かきのもとひとまる}
柿本人麻呂
7世紀後半の歌人で、持統天皇・文武天皇に仕えた。地位は低かったが、宮廷歌人として活躍。後世、「歌聖」と仰がれた。



上図のピラミッドをつくれば、天皇（天照の子孫）を頂点とする国づくりが正当化できる！
⇒日本神話がつくれる



図11 天武天皇